HTLabel/ExcelLabel

取扱説明書



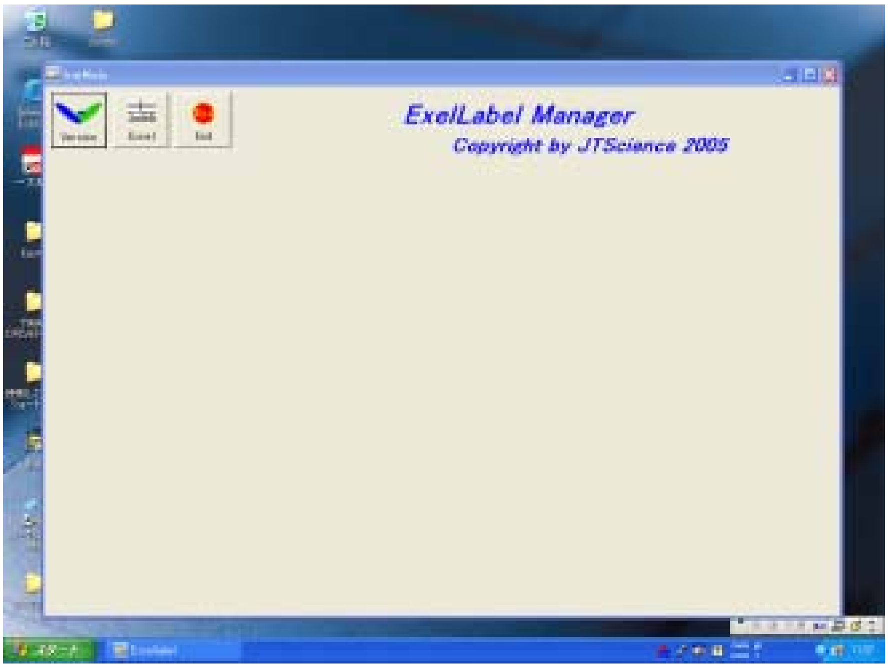
ジェイティサイエンス

1， はじめに

このたびは弊社エクセル用ラベルソフトをご購入いただきましてどうもありがとうございました。簡単にご使用に際しての使い方を説明いたします。

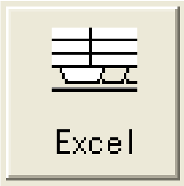
本製品は主にエクセルに保存されたデータをそのまま弊社ラベルにラベリングする目的で作製されたソフトウェアです。 Microsoft社製のExcelで作製されたデータベースから、特定の項目のデータを選択してラベルする事が出来ます。 **弊社のプログラムが動作するには同じコンピュータにMicrosoft社製のExcelがインストールされている必要はありません。** ソフトが自動的にExcelデータを読み込みます。使用できるラベルの大きさは １１mmφ （１５０面）の円形ラベルと ２４mmX１２mm（６０面）、３５mmX１０mm（９５面）、４０mmX１２mm（７２面）の長方形のラベルであり、ラベルは弊社専用のものをご使用ください。 また、６０面ラベルは高品質紙ラベル（２４mmX１２mm）で耐水紙ではございません。 高品質紙の場合は１，２時間程度の水塗れには耐えますが耐水性の品質を保証するものではございません。 １５０，７２，９５面ラベルは光沢紙であり耐水性がございます。くれぐれもご理解下さい。
また、ラベルしたマイクロチューブや試薬瓶などを凍結保存される場合などには、 ラベルを貼る面を乾いた布などで十分に拭いて表面に水分がない状態にしてからラベルをお貼りください。

本ソフトウェアはエクセルデータからの専用のラベリングソフトウェアで、 ＷｉｎｄｏｗｓＭｅ/XPにて動作確認を行っております。 マッキントッシュにては動作いたしませんので、 あらかじめご承知おき下さい。

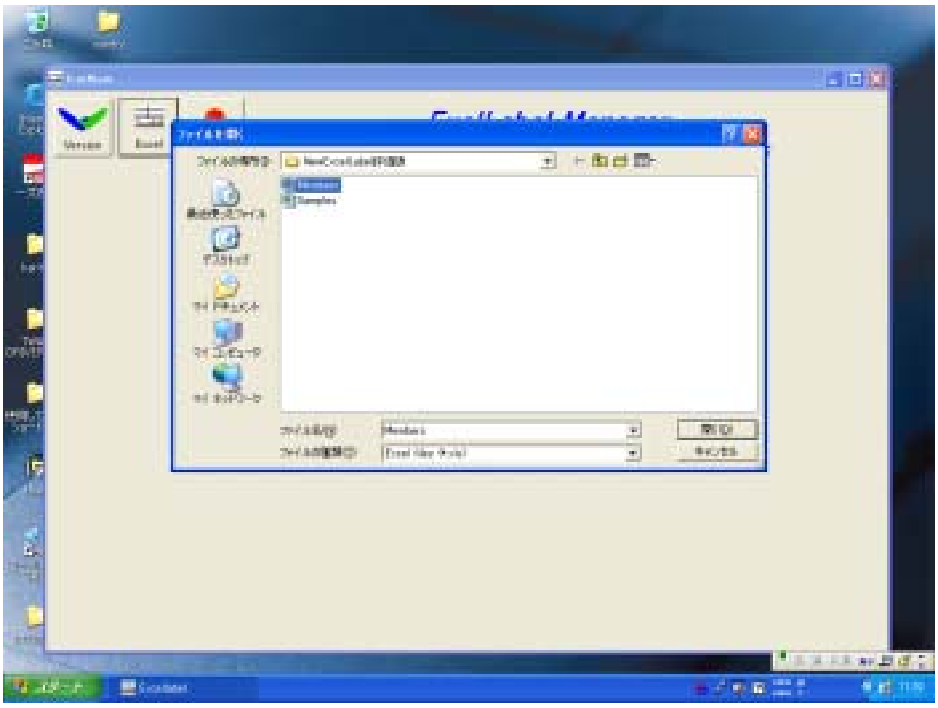


画面　　　　　１

2， ファイルのロード



本ソフトウェアにおいては、 初期画面にて使用するExcelデータベースを読み込む必要があります。 初期画面において必ず使用するExcelのファイルをロードしてください。本ソフトウェアはロードされたExcelファイルのSheet１が表示され、 表示されたシートをデータベースとして用いることになります。 （画面　２）。 **なお、本ソフトウェアにおいてはデータは列を基準に参照されますので、個々のデータは縦方向に入力した様式としてください。**



画面　　　　２

Excel ファイルが正常に読み込まれますと、 画面４のようにExcel データベースの内容が表示されます。 基本的にはSheet1が表示されることとなります。 データベースとしてSheet2のデータを使用したい場合には、 画面３のようにエクセル表示枠の左下をクリックして目的のシート番号を選択してください。 中央に表示されたシートのデータに関して本ソフトウェアはデータのラベリングを行います。

3， 連続データのラベリング

本ソフトウェアにおいては、連続データの表示あるいはある閾値を設定して、その値より上あるいは下のデータを持つデータのラベリングなどいろいろのデータをラベルする事が出来ます。



画面　　　　３



画面　　　4

一つのラベルに最大２種類までの項目をラベルする事が出来ます。　文字列（基本）と数字列です。この場合必ず文字列は必要なラベル項目ですので、　文字列欄には目的とするデータの列を設定してください。　数字が表示されている列のみをラベルする場合においても、数字を文字として扱ってその列の値を（文字として）ラベルする事が出来ます。　また、文字列欄以外に　数字列欄を同時に同じラベルにラベルする事が出来ます。　その場合には文字列の他に数字列を選択してください。　この場合数字列は必ず数字である必要があります。　また数字列欄をラベルする必要がない場合には数字列にて@を選択してください。数字列は表示しません。　単純な**連続データのラベルの場合には評価列は@を選択してください。**



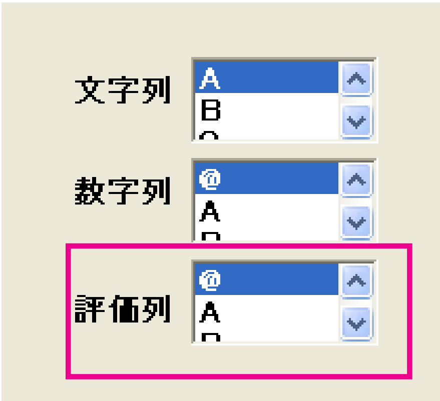
画面　　　5

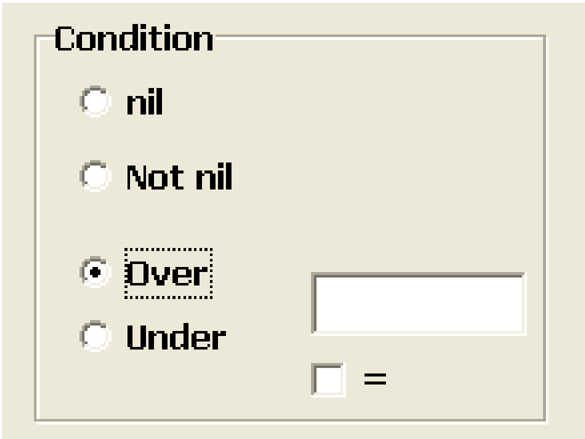
4，　特定データのラベリング

本ソフトウェアではExcelのデータの中から特別なデータを持つデータのみをラベリングすることが出来ます。 その場合別途評価列を指定して評価列のデータを指定した条件で判断して特定なデータ行のみをラベリングします。

評価列に@以外を設定すると画面６の評価条件設定項目が表示されます。 nilは評価データ欄が空欄、not nil は空欄以外であればそれに該当するデータ行の文字列や数字列のみがラベリングされることになります。

また、その評価項目で　Over　Under　を指定すると、特定の閾値を入力する欄が表示されます。 その欄に特定の数字を入力しますとその値を閾値としてその設定条件に合うデータのみがラベルされることになります。 □＝をクリックしますとその閾値と同じ値のデータも含まれることとなります。





画面　　　　　　６



画面　　　　　　７

４，　設定方法

　簡単に例を用いて説明します。　現在背番号がＡ列、氏名がＢ列、打率がＣ列のデータの入力された架空の野球チームのデータがExcelに保存されているとします。

４－１，　氏名を連続でラベリングする場合

　文字列に氏名が入力されているＢ列を指定します。　（画面　７）　ここでListMake　ボタンをクリックすると目的のラベリングを行うラベル情報が表示されます。　（画面　８）



画面　　　８



画面　　　９

４－２，　氏名と背番号を連続でラベリングする場合

文字列に氏名が入力されているＢ列を、 数字列に背番号が表示されているＡ列を指定します。（画面　９） ここで　ListMake　ボタンをクリックすると目的のラベリングを行うラベル情報が表示されます。 （画面　１０）



画面　　　１０

４－３，特定打率以上の氏名と背番号をラベリングする場合

打率３割以上の人のみの人名と背番号をひとつのラベルにラベリングする場合を示します。

文字列に氏名列すなわちＢ列、 数字列に背番号列すなわちＡ列を選択して、新たに評価欄に打率の欄すなわちＣ列を指定します。 そこで、 条件ボックスの中からOverを指定して数値入力欄に閾値として３割すなわち0.3を入力します。 （画面　１１） ここで　ListMake　ボタンをクリックすると目的のラベリングを行うラベル情報が表示されます。 （画面　１２）

また、背番号のラベリングは行わずに氏名のみのラベリングを行う場合には数字列の設定を＠とします。　そうしますと氏名のみのラベリングとなります。

５，　ラベル条件の設定

ListMake　をクリックしますとラベル表示内容と同時にラベルに関するいろいろな設定項目が同時に表示されます。　指示に従って必要な項目を選択してください。


ExelLabel Manager
Copyright by JTScience 2005

画面　　　１３


ExelLabel Manager 評価版
Copyright by JTScience 2005

画面　　　１４

５－１， 開始行の設定

ListMake にて表示されたデータのうち一部を表示したい場合があります。 その場合ListMake にて表示されたデータの中から開始行を別途設定してください。
その行のデータからラベリングします。

５－２， リピート面数の設定

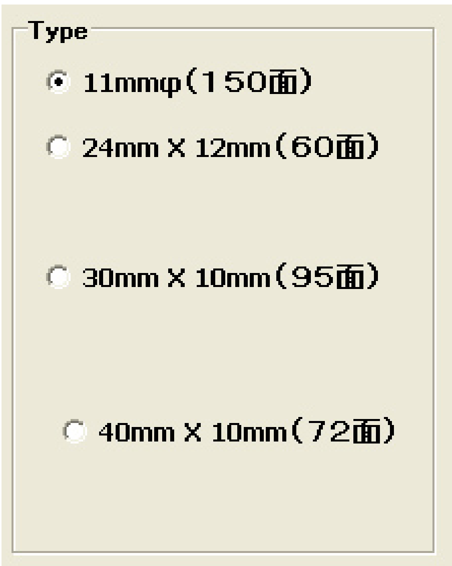
データをラベリングする場合に、 同じ内容のラベルを同時に複数枚作製したい場合があります。 その場合にはリピート面数をその枚数分に設定してください。

５－３， 作製ラベルタイプの設定

現在ラベリングは弊社の３種類のラベルに対して行うことが出来ます。

- １５０面　　１１mmφ
- ６０面　　１２mmＸ２４mm
- ７２面　　１２mmＸ４０mm
- ９５面　　１０mmＸ３５mm

また、 数字列と文字列を表示する場合に２種類の方法でラベリングすることが出来ます。 田中一郎　１２　と２つのデータをラベリングする場合には通常上下の位置にて両者をラベルします(下図　タイプ　上下)。 また、 項目設定画面の　□左右をクリックしますと、 文字列と数字列を文字列を左側にして左右にラベルします(下図　タイプ左右)。 なお１５０面では２行上下のみとなり、 文字数も６文字までとなります。それ以上の文字は無視されます。



画面　　１５



タイプ　上下



タイプ　左右

5， プリント条件の設定

プリント条件の設定が終了しますと　PrintSet　ボタンをクリックしてください。画面１６のようにラベルのプリントに必要な画面が表示されます。

５－１， ラベル位置の設定

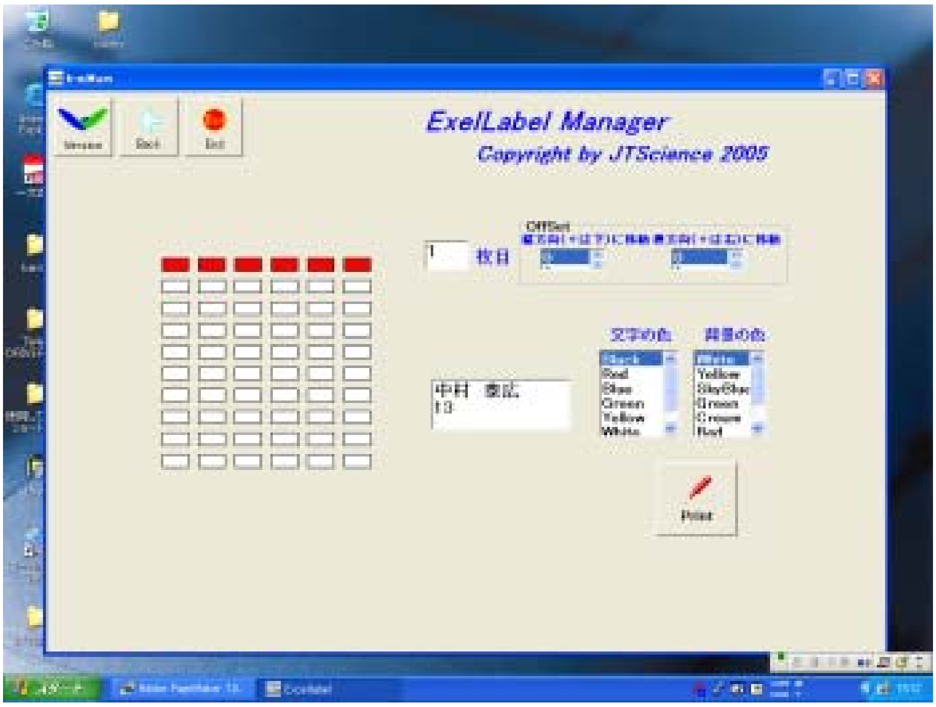
通常は前回終了のラベル位置が保存されていて、 その後に今回ラベリングを行うラベル位置が赤く表示されています。 何らかの理由でその位置以外の場所からラベリングを行いたい場合には、 新たにラベリングを行う最初のラベル位置ををクリックしてください。 画面　１７のように新しくラベリングするラベルが赤く表示されます。

５－２， ラベルの文字色と背景色の設定

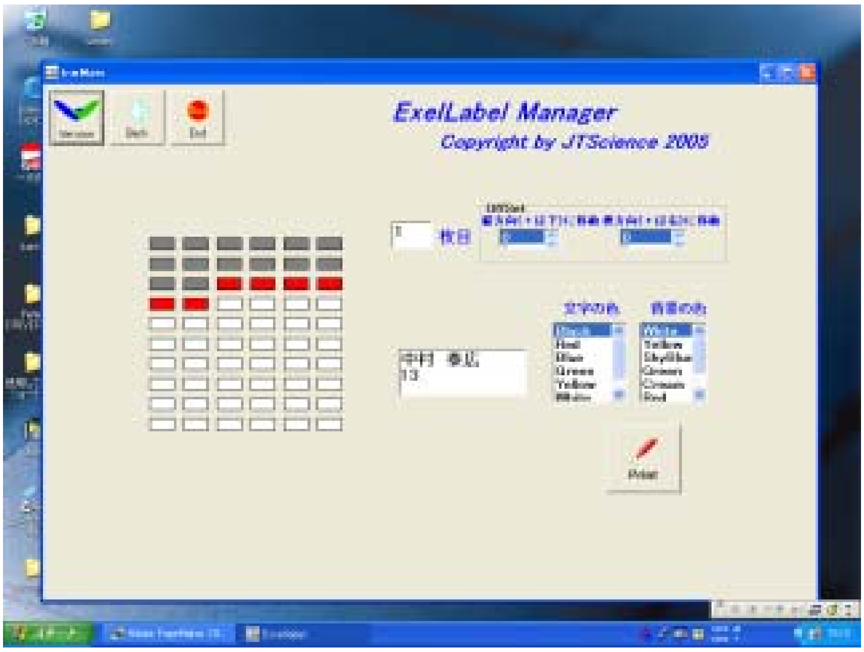
ラベルに関しては、 文字の色と背景の色を設定することが出来ます。 それぞれ目的の色をクリックしてください。 画面　１８のようにプリントされるラベルの色あいが新たに表示されます。 表示の色と実際のプリントの色が異なる場合がございますので一度プリントして色具合をお確かめ下さい。

５－３， オフセットの設定

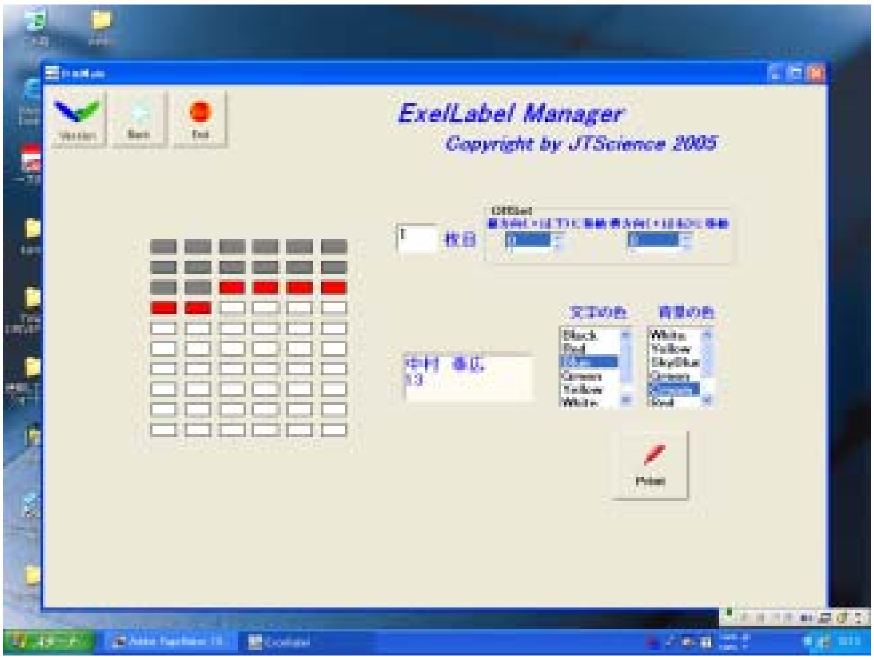
ラベルのプリントにおいては各プリンターによって微妙に位置関係が異なりますので、 別途オフセットの設定においてプリント位置を修正することが出来ます。画面



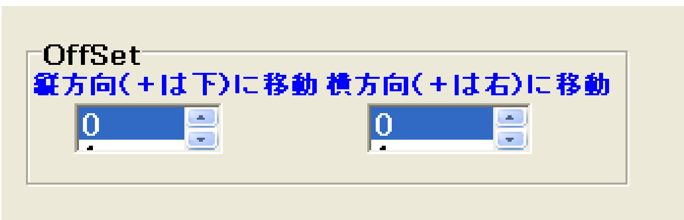
画面　　　１６



画面　　　１７



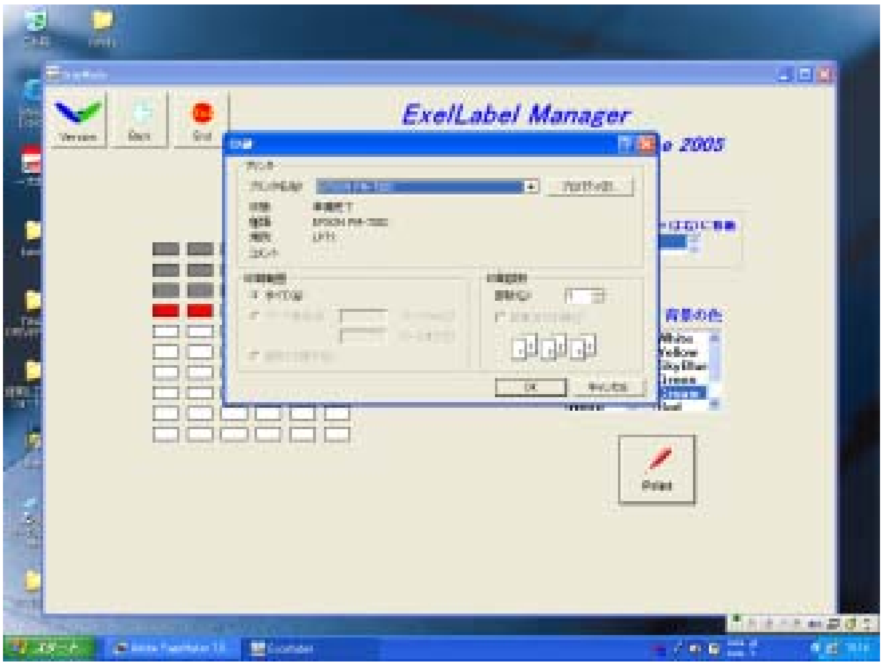
画面　　　１８



１９にてリストボタンを青くクリックして、 縦方向、横方向に数値をmm単位で設定して位置ずれを修正してください。 なお、 一度修正されたオフセット値は以降のプリン時には自動で保持されてプリントされます。

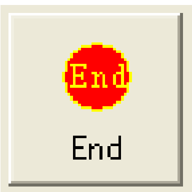
6， プリント

プリント条件の設定が終了しますと、 Print ボタンをクリックしてください。 通常のプリント画面が表示されます（画面 ２０）。 プリントするプリンター、紙質を選択してプリントしてください。



画面　　２０

7， 終了



プログラムを終了する場合には、 End ボタンをクリックしてください。 本ソフトウェアは終了いたします。

（有） ジェイティサイエンス

神奈川県相模原市相模台６－２５－１－１０３
Tel 042-745-7351
Fax 042-853-7329